

お遍路報告 7月25日(木)～8月6日(火)

植木(記)

一昨年、59番まで廻ったので、今回は88番まで廻ってから、高野山で結願報告できればと企画した。メンバーは前回の斎藤・三日尻・植木に、歩きお遍路をされた井口さんを加え4人で廻ることになった。予定として

- 25日：21時に横浜青葉インターから、東名高速・名神高速などを走る
- 26日：6時に道後温泉本館に着、入浴してから 60番「横峯寺」～64番「前神寺」
- 27日：8時にルートイン伊予西条を出発、 65番「三角寺」～66番「雲辺寺」
道中 「大歩危・小歩危」「平家屋敷民族資料館」「祖谷のかずら橋」を楽しむ
- 28日：8時にルートイン丸亀を出発、折角なので「金比羅宮」の785段に挑戦してから
67番「大興寺」～73番「出釈迦寺」
- 29日：8時にルートイン丸亀を出発、 74番「甲山寺」～82番「根香寺」
道中 「丸亀城址」を見学
- 30日：8時にルートイン丸亀を出発、83番「一宮寺」～84番「屋島寺」
道中 「栗林公園」「高松城」「屋島古戦場」を楽しむ
- 31日：7時30分にルートイン高松屋島を出発 フェリーで直島の「地中美術館」を見学
- 1日：9時にルートイン高松屋島を出発 85番「八栗寺」～88番「大窪寺」
結願を祝して「グランドエクシブ鳴門内 ザ・ロッジ」で祝杯を
- 2日：9時にホテルを出発、1番「霊山寺」と泊まったお遍路宿に、お礼参り
観光船で「うず潮」を見学
- 3日：8時に東横イン徳島駅を出発、フェリーで和歌山港から高野山宿坊に
- 4日：「高野山奥の院」で結願を報告。高野山を散策
- 5日：9時に宿坊を出発、熊野的那智の滝などを観光
- 6日：8時にホテル浦島を出発、帰路へ。20時に新百合ヶ丘に帰宅。



●トピックス (お寺の写真は省略)

夜8時に4人で出発。ドライバーは斎藤さんと三日尻さん、ナビゲーターは井口さん、植木は会計。翌朝に道後温泉本館に、改装も終わり、早朝でもあったので並ぶこともなく、ゆっくりと入浴。



道中の昼食は、四国だけに、もっばら、うどんを食し、夕方はもっばらコンビニのお世話に。

初日だけは、ホテル推薦の海鮮料理屋に、驚いたことは、アスパラの天ぷらは一本まるまる。鮭茶漬は、揚げた鮭の切り身が、そのままドカーンと

道中は記録的な猛暑、車とはいえ、寺院は駐車場から階段・山道を歩くところに、よく重機のない時代にこんなところに建てたものと感心。

しかも私は深夜・早朝までオリンピック中継を見て睡眠不足という最悪な過ごしかたを・・・よく頑張ったものだ。



今回、同行した井口さんは訪れた寺で、しっかりと納経をさすが、本格的なお参りを。



また、道中で出会った方と交流を、フランスからということで、オリンピックの話題を彼は柔道をやっているとのこと。

途中、寄った「大歩危・小歩危」



「祖谷のかずら橋」



ついで、ということで「金比羅神社」に寄り道



歌にもでてくる金比羅さんへ
なんと785段の階段を登り
きらなければならない。
手すりが無いので、貸し杖が
100円で置いてある厳しさ。

頂上でお参りをすませてから
一休みを

次の寄り道は「丸亀城址」



平成30年の豪雨によって城壁の一部が大規模に崩落。
その修復現場には落石した巨岩が、ナンバーをつけて管理されている。

丸亀市庁舎の前に美しいフォルムでそびえ立っている。

次の寄り道は「栗林公園」「高松城」



特別に案内された、豪華なつくりの部屋で



是非とも、行きたかった直島の「地中美術館」へ、高松港からフェリーで



美術館のレストランで、海を眺めながらビールで喉をうるおす。



直島は国際的に有名な芸術の島ということで外人の観光客が多く、港には国際的芸術家の草間彌生のカボチャの作品が。



「地中美術館」は時間制限が厳しく、予約をしていないと3時間待ちに予約をしてあっても、時間がこないと入場できない。入口で待機する。



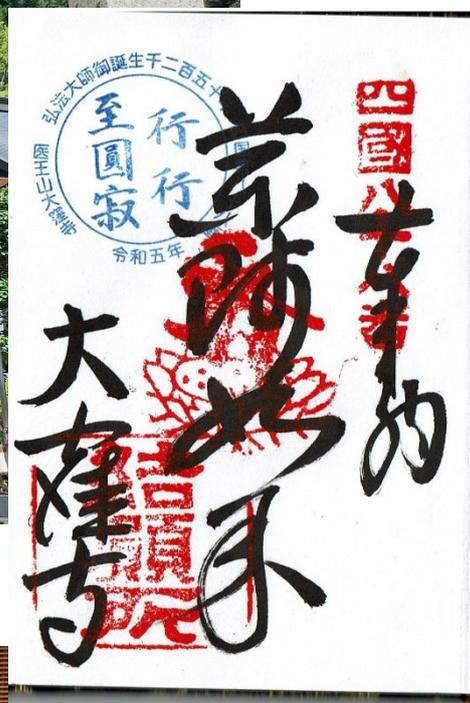
いよいよ最終の88番「大窪寺」へ、途中の「おへんろ交流サロン」で総仕上げ



玄関で説明員をお願いして

お遍路全体がわかるジオラマ

88番「大窪寺」で、結願した満足感で



打ち上げは、少し贅沢して、海に沈む夕日を眺めながら乾杯！



一昨年、お遍路をスタートした1番寺「霊山寺」にお礼参りしてから、前回、衣装を揃えたお店でマネキンと



船で「うず潮」を見学



南海フェリーで2時間半、徳島港から和歌山港へ

高野山奥の院で結願の報告を



お遠路スタート一番寺「霊山寺」の御朱印と、結願報告の「高野山奥の院」の御朱印

高野山宿坊で2日間過ごしたが、世界遺産なだけに多くの外人が来られている。



精進料理とはいえ、ビールはOKということで乾杯



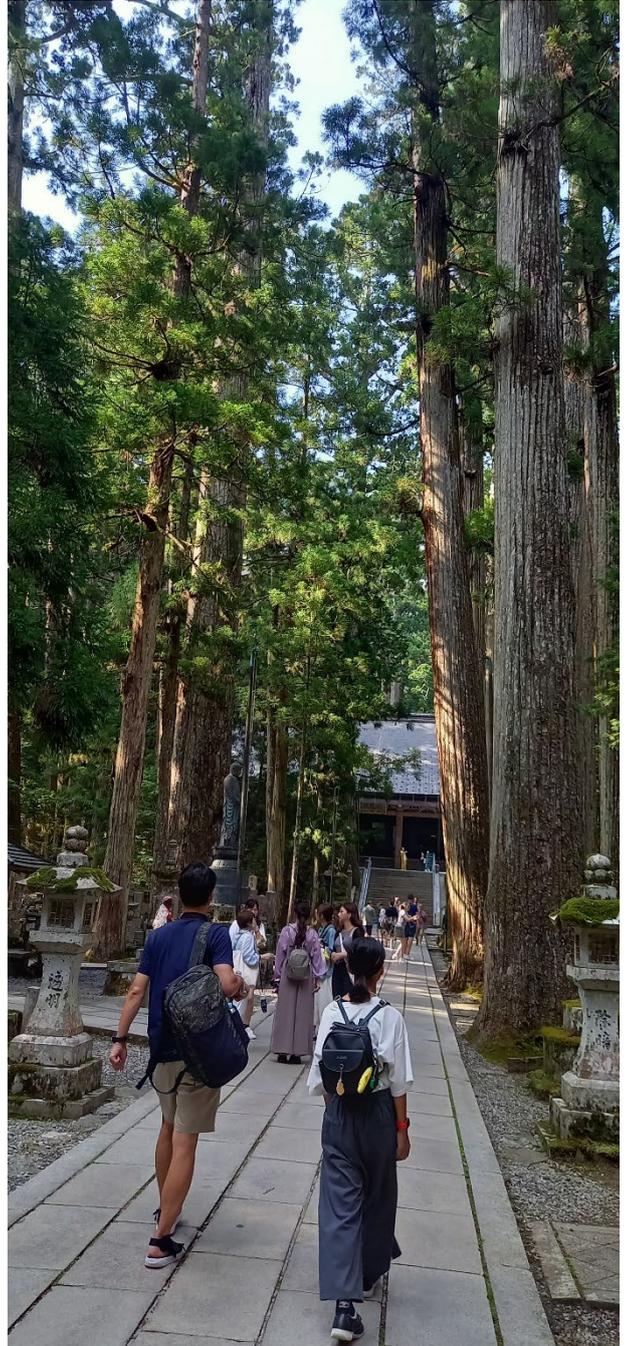
宿坊なので、朝はお努めが、護摩行が行われたが、日本人は我々だけで、おもいを込めた護摩木を炎のなかに投げ入れる。孫の高校受験の応援をお願いした。



高野山は、まわり切れないほどの寺院が、奥の院を散策



いずれ、物故者になったら、
ここの名簿に書き入れられるのかなと思いつつ
お世話になった先輩の霊にも感謝を

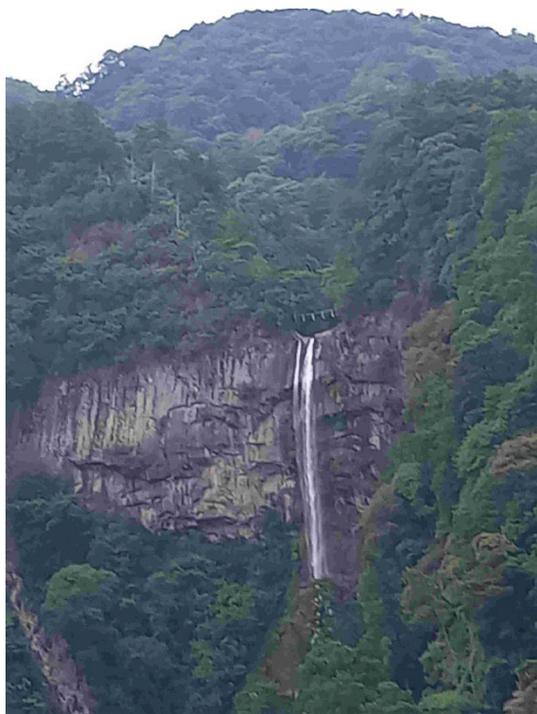


さすが高野山、
遍路道には見られない
壮大な建物が、多くある
外人が
多く関心を持つのもわかる

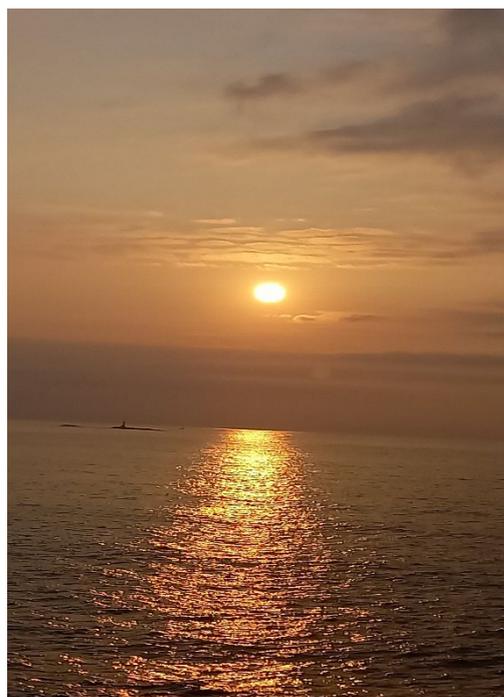
ギリシャの遺跡を訪れた
自分の気持ちと通じるかな



せっかくだから、熊野に足をのばして帰路につくことに
那智の滝は水量不足かな



宿泊したホテル浦島は巨大で、温泉も良く、朝日がきれいに



ゆっくり疲れをとって帰路に、長かった旅も、無事、新百合ヶ丘に帰りました。

